

LPガス集中監視システム等による保安高度化の為の共同運営の調査

16年度石油ガス販売事業構造改善支援事業・構造改善調査概要について。

1. 実施者名

高山エルピージー販売株式会社

2. 調査概要

(1) 目的

15年度構造改善事業として実施したLPガス集中監視システムの無線化のための電波調査に基づき実機を設置して販売事業者10社が設置親機の共同使用を図りLPガス集中監視システム運用についての状況調査等の調査事業及び認定販売事業者制度の維持に対する調査。

(2) 実施方法

今回の調査事業には15年度調査に参加いただいた新規加入事業者2社にNTTテレコンシステムを導入いただきシステム統一し、各事業者に親機を割振り1親機に最低子機15台を通信可能状況になるよう高山市内・飛騨市市内に取付、その親機・子機間の通信状況を調査する。

3. 4. 調査結果の概要及び調査結果から得られた効果。

今回の調査では、昨年実施した調査用無線機による親機設置消費者宅を中心に道路上を子機の通信電波強度により地図上にマーキングした資料を基にまず各参加事業者親機設置消費者宅の選定をいただき、消費者に調査の目的の説明と親機設置のご理解をいただいた上、了解いただいたところから参加事業者親機の設置工事を実施し、参加事業者がその周辺で参加者の顧客の電波状況を測定し電波状況が最も良い顧客に子機を設置する方法で親機・子機の縁組実施をして事業推進を図りました。

その過程では前回調査と今回との大きな違いは、実際の子機設置はガスメーター器の近くに取付けることが多いため障害物による電波障害が多くその対応に苦労しました。その結果から考えますと親機の電波範囲を重ねて親機を設置することにより子機通信エリア範囲が大きくなり障害物による電波障害をほとんど通信可能とすることが出来ました。また、電波状況の確認作業に時間をかけることによりその後の通信状況が良好で両機間及びセンター通信に関し調査期間で通信上のトラブルは皆無となり無線化の最大の長所ではないかと思えます。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取組。

今回の実機の取付調査で今後の集中監視システムの存続に自信を得ました。今後は先ず現在設置して有る親機に参加事業者が従来型有線NCUの有効期限切れ及び電池電圧低下NCUを無線子機に交換取付けを推進して行く事、新に親機設置を当社が予算化し飛驒地域に設置普及し共同運営を進めることが地域販売事業者の配送費用の削減及び保安確保に有効であると考えます。

又、現在他社システムを採用して通信インフラの変動によりシステム運用が出来なくなっている事業者をわれわれと歩調を合わせて行けるようにシステム運用を考えて推進して行きたいと思えます。その推進の一つの方法としてNTTが使用している電柱にもう少し大容量の無線親機を設置できる方法がないかNTTテレコンに検討いただきたいことと、NTTテレコンが親機を設置して各ガス事業者が料金を払い利用する方法が出来ないかを提案して、集中監視システムの独自電波使用（携帯電話通信）による共同運用システムを目指して推進して行きたいと思えます。

6. 補助金確定額

金26,605,710円